

都農町の調査結果とまちづくり

宮崎大学地域資源創成学部一年 地域探索実習 三班

都農町中心市街地

都農町長と役場のまちづくり課、建設課の方によるまちづくりに関する講話や旧10号線と道の駅の現地調査を通して、都農町の現状や課題、構想が分かった。そして私たちは課題解決、構想実現に向けての提案を考えた。

《調査結果》

- 「道の駅つもの」は都農町のシンボルだが、まだ完全には活用しきれていない
 - ・ 都農町の“食”が表現できていない
 - ・ トマト、ぶどう、梨など魅力ある一次産品が多くある
- フードビジネスタウン構想
 - ↳ 生産、加工、販売を都農で行い、町を代表するものを伸ばしていきたい
 - ・ 商工会の経験が足りておらず、商品開発やマーケティングのノウハウが必要
 - ・ 一次産業をベースに付加価値をつけ、強い産業にしていきたい
 - ・ 宿泊施設を充実させて滞在時間を長くしたい
 - ・ 一次産業の後継者が不足している

町長の「道の駅を完全には活用しきれていない」という話とフードビジネスタウン構想に着目し、都農の一次産品を活かして道の駅を盛り上げ、都農町のさらなる発展につなげたい。

《提案》 **都農の魅力丸絞り**

【概要】

- ・ 都農町産の果物や野菜などの農作物をジュースに加工し、蛇口から出てくるような装置を道の駅に設置し販売する。
- ・ 多くの人にいろいろな味のジュースを飲んで欲しいため、専用のコップを販売して飲み放題形式にする。
- ・ 販売は定期的に行い、イベント化する。
- ・ 好評だったジュースは商品化し、販売する。その後も定期的に蛇口でのジュース販売は行う。
- ・ 蛇口での販売に合わせてジュースの材料となっている農作物の購入も促す。

【期待できる効果】

- ・ 都農町の一次産品の魅力をアピールできる
- ・ 農作物の購入にもつながる
- ・ 人気のジュースを調査してから商品化することで売り上げが期待できる
- ・ 話題性があるため道の駅を訪れる人が増加する
 - 都農町の交流人口が増加する
- ・ 生産、加工、販売を町内ですというフードビジネスタウンの実現にもつながる。



↑愛媛県の松山空港に設置されたミカンジュースが出てくる蛇口

都農町木和田地区

① 都農町の現状と課題

- ・ 高齢者が多いにも関わらず、避難施設が遠かった
- ・ 住民同士の交流が盛んでない
- ・ 町内で生産されるスイートピーの消費量が少ない
- ・ 町外の人を受け入れる態勢が出来上がっていない
- ・ 木和田地区の住民だけでは行事が行えない

② 調査結果から考えたこと

- ・ 災害時や緊急時のことを考えると不安になった
- ・ 木和田地区の隠れた魅力を伝えることはできないか
- ・ 町外の人を受け入れてもらうために何が必要か
- ・ 住民同士の交流を深めるには何が必要か
- ・ 学生が行える範囲で行事を行うことはできないか

③ 木和田地区の隠れた魅力

- ・ スイートピー
 1. 訪問先の農家さんは平成三年から栽培されており、かなり歴史がある。
 2. お店は高い時、1本300円ほどするが、木和田で生産されたものは60~70円で販売されている



訪問先のスイートピー

- ・ 棚田
 1. 町民の方が手入れをされており、維持されている
 2. 景観が立派な観光資源となる可能性がある。



木和田地区の棚田

- ・ 桜
 1. 昔は、花見に来る人がおり、木和田地区の方も参加されていた。
 2. 現在は、手入れが行き届いておらず、花見を行える状況ではないことを伺った。



木和田地区の桜

④ 木和田地区のまちおこしについての提案

- ・ 提案の方向性
木和田地区の隠れた魅力を発信すると同時に、町外から人が集まり、住民同士の交流を深めることができる行事を提案したい。

- ・ 提案の具体的な内容
手入れが行き届いていない桜並木の清掃を学生が地域の方と行って、そのエリアで花見とみちくさ市のようなイベントを行う。

- ・ 提案決定の背景
木和田地区の方々、町外の人を受け入れることに前向きでないことを伺った。そのため、私たち学生が共同作業を行うことで信頼関係を築くことができると考えた。また、隠れた魅力の一つである桜を活かすことで、町外からも人が集まる花見イベントを行うことができると考えた。